

平成26年度 広島グッドチャレンジ賞

広島グッドチャレンジ賞とは

広島グッドチャレンジ賞は、社会貢献の心をはぐくむボランティア活動等への生徒の積極的な参加を促し、活動への意欲を喚起するため、善いことを自ら進んで実践した生徒個人、グループ、生徒会を表彰します。表彰対象者は、広島市立中学校及び広島特別支援学校中学部の生徒個人、グループ及び生徒会となります。



平成27年1月9日（金）広島市役所本庁舎2階講堂で、その活動を認められた個人の部29名、グループの部85組、生徒会39校を集めて開催しました。それぞれの受賞者の活動が紹介される中、生徒たちは壇上に上がり、教育長から表彰状を受け取ります。その態度はととても堂々としていました。

中学生たちの活動例



「読み聞かせ」福祉支援活動



「壁画の製作」美化活動



「広島市土砂災害ボランティア」
支援活動

- 【個人の部】
 - ・職場体験学習で習った読み聞かせ活動を継続し、小学校や文化祭で披露した。
 - ・草刈り中に斜面を滑り落ち、身動きのとれない男性の救助活動をした。
- 【グループの部】
 - ・社会福祉協議会の要請に応じて、地域の防災壁に壁画を制作し、設置した。
 - ・公民館祭りなど、地域の行事の企画・運営などに携わり、積極的に活動した。
- 【生徒会の部】
 - ・広島市土砂災害へのボランティアへの参加や義援金募金を呼びかける活動をした。
 - ・アルミ缶やペットボトルのキャップなどを定期的に回収して、学区内の福祉施設へ車いすを寄付した。

受賞者代表の言葉から

個人の部

私は、去年の6月、職場体験学習で佐伯区図書館湯来河野閲覧室に行きました。そこで、地域で読み聞かせ活動を行っている方に、読み聞かせの演出の工夫や本の選び方について指導していただき、練習をしてきました。

初めての読み聞かせは湯来南小学校で、自分の妹がいるクラスということもあり、とても緊張しました。しかし、じっと目をこらし、耳を澄まして聞いてくれていた小学生たちから拍手をもらった時、ほっとすると同時に、とてもうれしい気持ちになりました。それから何度か読み聞かせをしていくうちに、あまり緊張をしないようになり、自分に自信がついてきました。「楽しかった」「ありがとう」と言ってもらえることも多くなって、とてもやりがいを感じるようになりました。

職場体験が終わってからは、私の読み聞かせ活動の集大成となる11月の文化祭でのステージ発表に向けて、『注文の多い料理店』の練習に本格的に取り組みました。吹奏楽部の人たちにも協力してもらい、研究を重ね、たくさんの工夫ができました。

読み聞かせ活動を通じて、自分に自信がつき、たくさんの人と親しくなれ、いい経験ができたと思います。読み聞かせ活動を今後も続けていくとともに、経験し学んだことを、生かして頑張っていきたいと思います。また、地域の子どもたちのために大切にされているこの活動を、ぜひ、後輩たちの手で継承してほしいとも思っています。

広島市立砂谷中学校 新谷 桃花

グループの部

私たちは昨年の春頃から本格的に壁画の活動に取り組んできました。その活動とは、井口駅の裏通りに飾るための壁画を描くというものです。壁画制作を始めた時、美術部にとって、木の板に絵を描くことや大きな筆で色を塗るといったことなどははじめてのことでした。

私たちは4枚の壁画を作成しましたが、一枚の壁画は6枚の板をつなぎ合わせてできているため、それぞれの絵が綺麗につながるように配慮することが大きな課題となりました。

しかし、この活動を通して、全体の技術の向上や、美術部としての役割が、それぞれ分かったのではないかと思います。

私たちが作成した壁画は、これまでに飾られていた壁画と同じように何年も残るでしょう。これをきっかけに井口の街が少しでも活気づいてくれればと思います。地域に貢献できたことを本当にうれしく思います。そしてこれからも地域のために貢献できるよう、美術部一丸となって日々成長していきたいと思えます。本日はありがとうございました。

広島市立井口中学校美術部 眞鍋 梨緒

生徒会の部

僕たち城山北中学校生徒会は、本校の伝統として定着している「花いっぱい運動」に加えて、本年度は、土砂災害復旧ボランティアや募金活動に取り組んできました。

まず、「花いっぱい運動」は、10月頃に、2日間に分けて「土づくり」と「苗の植え付け」を行う活動で、毎回、約150名の参加者が、協力して校内を花や緑でいっぱいにする取組を継続しています。

そして、今年、僕たちの地域をおそった8月20日の土砂災害。僕たち生徒会でも、地域ボランティア隊を募り、土砂で埋まった畑などの復旧作業に参加しました。また、災害の約1ヶ月後、生徒会執行部のメンバーがアストラムライン中筋駅前で、災害義援金のための募金活動をしました。本当に多くの方々が募金に協力して下さり、1時間で約4万円もの募金が集まりました。募金活動は、僕たちが地域の皆さんのために行いましたが、募金をしてくださった方々から「大変だけど頑張ってるね」「一緒に頑張っていこうね」など、たくさんの温かいお言葉をかけていただき、逆に僕たちが励まされました。それと同時に、たくさんの方々が僕たちの復興を応援してくださっていると改めて実感しました。土砂災害が起きて、4ヶ月と少しが経ちました。地域の復興はまだ、完全には終わっていません。城山北中学校の新たな生徒会執行部を中心に、今後も地域のためにできることを行っていきます。

城山北中学校生徒会は、これからも校内の伝統を引き継ぎ、地域のための貢献活動を行い、また、地域の方々に助けられながら、一つ一つの取組を工夫し、学校と地域の関係をより深いものにしていきたいと思えます。

広島市立城山北中学校生徒会 山下 航平